

新専門員森口の ボタニカルインタビュー

土佐清水ジオパーク構想に森口専門員が仲間に加わりました。植物の進化を専門にする彼女に植物の魅力や、研究の世界に足を踏み入れたキツカケなどをきいてみました。新緑眩しいこの季節、植物観察に出掛けてみませんか。

— 森口さん、ようこそ土佐清水へ。早速色々ときかせてください。森口さんは植物がご専門ということですが、これまでどんな研究をしていましたか。

— 遺伝子から生物の歴史を解き明かす「進化遺伝学」という分野で、樹木の進化について研究してきました。大学院での研究テーマは「針葉樹スギの遺伝子の多様性と進化史の研究」です。

— 植物に興味を持ったキツカケは何ですか。
正直に言うと「たまたま樹木図鑑を買ったから」です。小さい頃から家族で登山に行っていたのですが、ある時、せつかく山に登るのならばの生き物の名前を覚えようかなと思いい、たまたま目についた樹木図鑑を買いました。この時は特に植物に興味があつた訳ではないので、もし虫や鳥といった他の生き物の図鑑を手にとっていたら今は全然違う研究をしていたかもしれません。何の気なしに始めた植物観察でしたが、そのうち造形の面白さや多様さに魅了され、植物について詳しく知りたいと思うようになりました。

— 森口さんにとって究極の研究テーマってありますか。
今いる生物の姿や生態は全て長い年月の進化の結果、出来上がったものです。身近な生物の姿に隠された「進化の歴史」を解き明かしてみたいと思っています。
— 土佐清水でこれからやってみたい研究ってありますか。

人の暮らしと植物の関わりに興味があります。土佐清水の植物にはどんなものがあり、人々がそれらをどのように利用してきたのか、といったことを調べてみたいと思っています。

— 土佐清水の植生を一言で表すとどんな感じですか。
第一印象は「豊かな森」でした。移住してきたのが3月の終わりだったため、山のあちこちで桜が咲いているのや赤や黄色など色とりどりの照葉樹の芽生えが山を彩っていて、とても華やかだなと感じました。

— ぜひ、森口さんには土佐清水の新しい価値を発見してもらいたいと思っています。専門員としての意気込みをどうぞ。
土佐清水市民としてもジオパーク専門員としてもピカピカの一年生なので、どうぞご指導のほどお願いします。移住者の視点や自分の植物知識を生かして土佐清水市の新たな魅力を発見、発信していけるよう頑張ります。



森口夏季です。福岡県出身で、この春まで九州大学大学院でスギの遺伝子について研究をしていました。土佐清水の面白い植物の情報、ぜひ教えてください！

ジオパークだよりが伝えたいこと

私たちはジオパークという手段でこの土佐清水をより豊かにしたいと思っています。ここでいう「豊か」とは、経済的豊かさだけでなく、心の豊かさがとても重要だと思っています。では、どうすれば、心が豊かになるのか？

ものをよく見ること、感じることに、知ろうとすること、考えること、悩むこと…人や自然、文化、そして大地とふれあい、それらの繋がりを見出す中で、そういった経験を積み重ねることが、心の豊かさを作りだすものだと思います。それらのキツカケを与えることもジオパークの重要な役割です。

ですので、私たちはここでお知らせだけでなく、私たちが発見した小さな感動や、科学の面白さ…そういうことも含めてジオパークの魅力を発信していきます。そして、皆さんと双方向のコミュニケーションを図りながら、一緒にこの誌面を作っていきたいと思っています。

この誌面やジオパーク活動を通じて皆さんとふれあう中で土佐清水に「ジオパーク」という新しい文化を築いていきたいと考えています。

おもしろ情報やご意見・ご感想、寄稿文や写真など皆さまからのお便り募集しています。ジオパーク推進協議会までご連絡ください。

とさしみずの研究

平成30年度学術研究支援事業の紹介(全5回)

昨年度、土佐清水ジオパーク構想エリアをフィールドに行われた研究を対象に土佐清水ジオパーク構想学術研究支援事業を実施しました。地学をはじめ、防災や景観、ツーリズムなど多岐に渡る研究の成果を研究者の皆さんに紹介してもらいます。

第1回

将来の南海トラフ巨大地震を見据えた1946年南海地震の土佐清水における地震建物被害に関する調査研究

研究した人

高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン工学科
准教授 池田 雄一さん

昨年度は5回、土佐清水を学生と一緒に訪問し、土佐清水の建物の地震対策に必要な情報収集を行いました。1年間を振り返ってこの研究の難しさを改めて感じ、地元研究者が長く携わっていく必要があると感じています。

嬉しかったことは、土佐清水市窪津出身のE君が研究に参加してくれたことです。E君は、パソコンに長けている人物であり、土佐清水市の建物の地震対策に関する情報を、GIS(地図情報システム)を使って、土佐清水市の地震防災情報を可視化(見える化)してくれました。さて、高知高専から土佐清水市までは約3時間かかります。調査に行く途中、車中でE君から様々な土佐清水市の文化や情報を教えてくれました。

E君の卒業研究発表を聞いた後輩の女子学生が、今年度も土佐清水市の研究を引き継いでくれます。ちなみにこの学生も土佐清水市の出身です。

研究の報告書は協議会HPに掲載しています。

イベント!

大地と植物の 観察会 in 鹿島

石ころ博士と植物博士の案内で、初夏の土佐清水の自然をもっと知るための野外観察会を開催します。鹿島周辺の地質や植生をじっくり楽しむ2時間。詳細は協議会HPをご覧ください。

日時 5月11日(土) 13:30~15:30
集合場所 鹿島公園駐車場 定員 15名
参加費 500円(コーヒー・おやつ・保険代込み)
お申し込み 5月8日(水)までに下記までご連絡ください

